

令和元年度 未来をつくろう 市民と市長の地域懇談会

報 告 書



日時	令和元年 9 月 20 日（金） 午後 6 時 30 分～8 時 20 分	
場所	朝日会館	
参加者数	24 人	
市側出席者	市長	北 猛俊
	副市長	石井 隆
	教育長	近内 栄一
	総務部長	稲葉 武則
	市民生活部長	山下 俊明
	保健福祉部長	若杉 勝博
	経済部長	後藤 正紀
	建設水道部長	小野 豊
	教育部長	亀淵 雅彦
	ぶどう果樹研究所長	川上 勝義
	企画振興課長	西野 成紀

【市長 開会のあいさつ】

令和元年度の地域懇談会は、朝日会館がスタートということになりました。本日は、夜分にも関わらず、お疲れのところたくさんの方々にお集まりいただきお礼を申し上げます。

昨年度は、鉄道と市庁舎の関係でみなさんからご意見をいただきました。JRの関係では、9月の議会にJR北海道の利便性を向上するため、北海道や関係する自治体が、それぞれ負担をする取り組みを始めたところです。富良野市では150万円を補正予算に計上しています。議会は25日が最終日となっており、今後審議が行われます。根室線と富良野線の利便性向上に活用されることを期待しています。市庁舎の関係は、後ほど説明させていただきます。

令和3年度から富良野市の新しい総合計画がスタートします。それに向けて、来年度は総合計画策定の本格的な1年になります。本日は、新しい総合計画に向けたご意見をいただきたいと思えます。まちそだての基本は、市民のみなさんにとって利便性がどのように向上していくのか。また、消費税が上がり物価が高くなるということで、多くの負担が生じることとなります。そうした時代の中で、市民のみなさんの負担感をどれだけおさえていけるのか。そうした取り組みを進めるためには、何が活用できるのか。そうしたことが、このあとのまちづくりの主要な部分になってきます。

例えば、タクシー、バスやJRなどの公共交通機関の利用料金をどうやって安くすることができるのか。自動運転のバスを走らせることができれば、負担を安くすることができるのではないかと。バスの運行経費のなかで一番多くを占めるのは人件費です。ドライバーも足りなくなるといわれています。そうした課題に対する取り組みが必要になってくると思っています。また、マイナンバーカードが発行されていますが、国の制度の中で保険証の役割をマイナンバーカードに持たせるようになります。マイナンバーカードにいろんな機能を持たせることができれば、例えば、JRを利用するときに使うSuica（電子マネーのスイカ）と同じ機能を持たせたり、買い物に行ったときにはマイナンバーカードで支払いができたりということが、実際に活用できるような形にしていきたいと思っています。

一例を話しましたが、これらを活用するためにはICTといわれる情報通信技術やAI（人工知能）、ロボット技術を活用しながら、人口減少による働き手不足への対応をしていく必要があると考えています。機械に頼ることは一つの手法であって、あくまでも機械を扱うのは人間です。使い勝手の良さや利用頻度を高めていくためには、市民のみなさんの協力や知恵を借りることが必要になってきます。

いずれにしても、本日の地域懇談会のなかで、将来に向けてどんなまちにしたいのか、みなさんの希望やアイデアを寄せていただければ幸いです。また、地域の課題も聴かせていただき、明日の富良野市がより良いまちになるよう、ともに共同のまちづくりを進めていければと思いますので、今後ともご協力をお願いいたします。

【懇談会の意見と回答】

行財政運営（人口）

【ご意見】	【市の回答・対応方針】
<p>○2045年には富良野市の人口が1万4千人になるとの推計だが、国の推計だけでなく市の推計はあるのか。</p>	<p>○平成27年に、市の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」のなかで人口ビジョンをつくるときに、合計特殊出生率などが1.8人になれば2045年には1万6千人になると推計を出しています。令和3年度からスタートする新たな総合計画に向けて、今後新しい富良野市としての人口ビジョンや人口推計をこれから行っていきます。</p>
<p>○総合計画も大事だが、富良野市の財政の見通しを会計別に数字で教えてもらいたい。一般会計、特別会計、企業会計と会計別の単年度の報告は広報に出ているが、将来的に人口が減ったときには税収も当然減るだろうし、水道事業会計も減ってくることになる。そうしたときに将来的にどうなるのかを数字で見せて教えてもらいたい。</p>	<p>○総合計画は、将来の人口が少しでも減少せずに、横ばいの状況をつくっていききたい。そのためには、どういうことが必要なのかということ、いろんな方からの意見を聴きながら、少子化対策の意見もいただきながら将来少しでも人口が減らないかたちをとっていききたいと思っています。</p>
<p>○毎年、転出者の方が多いのはなぜか。</p>	<p>○転入者と転出者の差をみると転出者の方が多いため、富良野市は人口が減っています。詳しくみると、最も転出が多いのは高校卒業した後に進学や就職で旭川や札幌、東京に転出しています。出生と死亡の差を埋めるよりも転出と転入の差を埋めることの方が人口減少対策としては重要だと思っています。</p>
<p>○結婚しない人が増えている。ふれあいセンターの事業もあきらめずに継続してほしい。いろいろな方法で人口増加のために取り組んでほしい。</p>	

【ご意見】	【市の回答・対応方針】
<p>○朝日町連合会は 230 世帯ある。9つの町内会が集まっている。連合会の会長をやる人がいない。若い人は仕事を持っているのでできない。朝日町の連合会を解散することはできないか。解散が無理なら隣の連合会と合併できないか。今年の 4 月に総会を開いて会長を選任したが、なり手がいない。連合会はなぜ無くせないのかを知りたい。連合会がないと不都合なことがあるのか。現在、連合会の会長代行をしている。市役所に提出する書類が届くが、分からないことは市役所に聞きに行く。平日の昼間でないと市役所に行けない。仕事を持っているとそういう対応はできない。</p>	<p>○これまでも市民協働課に相談されていると伺っています。市内には 189 の町内会と 32 の連合会があります。自主防災活動や防犯灯の設置、交通安全、一斉清掃などを担っています。連合町内会長には市の事務も委嘱していて、年 2 回の連合町内会長会議を開催して地域の要望や市の施策に対する意見をいただいています。連合町内会の活動は、地域づくり補助金、コミュニティー活動費事務交付金を交付しています。連合会や町内会は任意団体なので解散できないというものではありません。市のまちづくりに大きな役割を果たしています。市としては存続してもらいたいと考えています。高齢化の問題は地域懇談会でもでてきています。農村部では戸数が減ってきたり、市街地ではアパートが増えたりと各町内会でも苦労しながら、町内会の構成も変えながら存続してもらっています。他の町内会の実情は市民協働課で把握していますので、できる限り存続してもらいたいと思います。</p>
<p>○朝日会館は連合会で運営している。市からの助成金と一般の人の利用料で賄っているが、だんだん利用者数が減ってきた。あと何年かしたら赤字で維持出来なくなる。5 年契約ということで平成 32 年までは契約しているが、それ以降、会館の運営を市に返上したい。会館の運営がなければ連合会も維持できる。</p>	<p>○平成 32 年度までは指定管理の契約になっています。指定管理料は赤字にならないようにと積算しているところです。屋根などの大きな修繕は、25 カ所の会館を年次計画で年に 2 カ所を大規模改修しています。地域会館は、地域の要望を受けて地域と行政がまちづくりをしていくために整備をしてきたところです。運営は、鍵の管理などで苦労されていると思います。高齢化で施設に入る人や家で暮らす人も増えてきます。半分以上が高齢者に</p>

	<p>なってきたときに、災害などで集まれる場所が必要になると思います。知恵を出し合いながら、できる限り連合会で運営を維持できるようにお願いしたいと思います。</p>
<p>○会館を無くすのではなく、運営を市に任せたい。そうなれば、今までは地域の利用は無料になっていたが、返上した場合は地域で使う場合は有料になるのか。</p>	<p>○会館運営の市への返上は可能です。地域が必要とする会館なので、地域が運営するというのが原則です。運営できないことで必要ないとい決めるのは良くないかもしれませんが、地域に会館が必要ないのであれば、例えば他の会館の修理を優先させるようなこともあるかもしれません。利用料は使う人に負担してもらうようになります。維持費が負担になる場合は、会館を閉鎖することにもなるかもしれません。地域会館は、なんとか地域で運営を継続してもらいたいと考えています。</p>

教育（学校教育）

【ご意見】	【市の回答・対応方針】
<p>○教育施設の整備では、学校の空調や冷房はどのように考えているのか。網戸がない教室もある。</p>	<p>○学校の空調ですが、実際に気温が高くなる時期は6月下旬から8月中旬くらいまでです。7月から8月は夏休みがあるので実際に稼働するのは1カ月くらいになります。そうした状況から、すべての教室に空調を整えていくのは難しいと思っています。しかし、児童生徒数の多い市街地区の学校では、体調を崩す子どもたちもいます。このため、最低限の安全を確保するために学校の保健室に冷房設備を整えていきます。今年度は、富良野小学校、西中学校、扇山小学校と3校を整備し、来年度以降も他の学校への整備を進めていきます。網戸については、順次整備を進めているところです。</p>

	○学校施設の改修については、いろいろ指摘がありますように問題点がありますので、総合計画で計画的に進めていくというかたちを取りたいと思います。
--	--

保健・医療（地域医療）

【ご意見】	【市の回答・対応方針】
○看護専門学校の卒業生のうち地元に着するものが4割にも満たない。6割から7割くらい市内の医療機関に就職できるような仕掛けをしてもらいたい。	○看護学校は、富良野圏域1市3町1村の看護師の確保を目的に設立されました。当初40人定員でしたが、現在は30人となっています。開校当時から定着率が低いということは課題としてあります。対策としては、地元の高校の推薦枠を設けています。また、奨学金を貸与して卒業後に条件を満たせば免除ということもしています。定着の仕組みについては、さらなる工夫をしていきたいと思っていますので、良い知恵をいただきたいと思います。

福祉・社会保障（子育て）

【ご意見】	【市の回答・対応方針】
○中学生までの入院医療費の無料を高校卒業までにしてもらいたい。	○入院医療費は拡充をしてきて、平成31年4月からは中学3年生までの住民税課税世帯の入院費は無料になっています。通院費は中富良野町では無料になっていますし、南富良野町では高校まで無料となっています。市議会や地域懇談会でも意見をいただいているところです。医療費の助成制度は、北海道の助成制度に上乗せをして対象範囲を拡大しています。市では、平成28年度から上乗せを拡大して入院まで無料となりました。市では、子育てには全般的にお金がかかるということか

	<p>ら、おむつ券や子どもの多い方への第3子への助成など、子育て支援の環境を関係部署が一体となって、いろんな声を聴きながら参考にして子育てに関する対策を検討しています。今後も、状況をみながら入院医療費の助成が良いのか、他の支援が良いのかを考えていきたいと思っています。</p>
--	--

福祉・社会保障（地域福祉）

【ご意見】	【市の回答・対応方針】
<p>○民生委員と保護司の後継者がいない。謝礼金が安くガソリン代にもならない。もう少し配慮することはできないか。</p>	<p>○民生児童員のなり手には苦労している地区も多くあります。待遇は基本的に無報酬です。無報酬でやっている自治体も多くあります。しかし、電話代や車代の経費も出ないということで市では囑託ということで幾らか報酬を支払っているところです。</p> <p>○高齢化が進んで、お互いが助け合う必要があります。大変ですが協力して安心して住んでいけるような環境をつくっていくのが大事だと思っています。民生児童員の方が朝早くから子どもたちの通学を見守っている姿を見ると頭が下がります。そうした助け合いが今後大事になってくると思います。</p>

防災・防犯（防災体制）

【ご意見】	【市の回答・対応方針】
<p>○1年前に全停電になったとき、FMラジオで給水車が出たとの情報もあり安心したことがあった。断水するという噂が流れたときも、市役所に行ったら心配ないと言われ、町内に伝えて回ったこともあった。</p>	<p>○昨年の地震による停電では、FMラジオ富良野は、直ぐに市役所に来て発電機を設置して対応してくれました。反省は、いつ放送しているのか分からないとのことでしたので、反省を踏まえてより良いラジオの使い方をして</p>

<p>○全道的に節電に協力していたが、防犯灯は消すことできないが、街灯はとても明るいので半分消しても問題ない。業者に聞いたら調整費に1か月分の電気代がかかると言われた。全道的な節電となれば市が先頭に立って節電に協力してほしい。</p>	<p>いきたいと思っています。</p> <p>○街路灯の節電ですが、ワインハウスに行く通りがかなり明るいということで、間引きして節電したということがありました。交通安全の問題も考慮して節電に対応していきたいと思います。</p>
---	---

基盤整備（水道）

【ご意見】	【市の回答・対応方針】
<p>○水道事業が赤字だから民間事業に委託しているという自治体があるようだが、富良野市の場合将来的に民間委託がありえるのか。</p>	<p>○水道法の改正で民間に委託することができるようになりましたが、富良野市は民間委託を考えていません。経営に関しては、例えば広域化などの点で、圏域での経営の一部統一化の検討をしていきます。</p>

基盤整備（市庁舎）

【ご意見】	【市の回答・対応方針】
<p>○国からの補助金はいくらか。</p>	<p>○補助金の金額は6億1,000万円を見込んでいます。国に返済する借金分も補てんされるので、合わせて26億円程度です。</p>
<p>○新しい庁舎は市の防災拠点になるが、1階は水没を想定した作りなのか。1階に車を横付けするスペースはあるのか。現在の道路の高さからどの程度の高さになるのか。</p>	<p>○100年に1度の洪水では浸水しない床の高さになっています。防災対策本部の会議室は3階になります。電気室や機械室は2階以上に配置します。南側に横付けするスペースを設けています。本通りを基準にすると50cm程度高くなります。</p>

【市長 閉会のあいさつ】

地域の課題を聴かせていただき、お礼を申し上げます。看護学校は卒業生が地元に着しないということや、学校の空調の関係。連合町内会や民生委員の担い手がいないという話もありました。それぞれ、将来につなげていく課題だと思います。

保健・医療（地域医療）

医療が充実していなければ住み良い環境はつくれませんし、看護師の養成も医療の充実と市民の健康を守るための取り組みに必要だと思っています。市民の健康づくりと医療の充実ということで意見を総合計画に反映したいと思っています。

教育（学校教育）

学校の空調は、子どもたちが学ぶ環境として、受ける教育の充実も必要だと思っています。優秀な子どもたちが育って、次の富良野市のまちを守ってもらう、育ててもらうことが大切だと思っています。学校の教育環境の充実ということで次の総合計画に盛り込みたいと思っています。

福祉・社会保障（地域福祉）

民生児童委員のあり方ですが、今の時代の中で求められているのは、支え合いと助け合いです。これまでも、社会の中で培われてきた大事な部分です。コミュニティーが不足しているといわれ、他への思いやりや気配りが薄くなってきています。そうしたことから、悩みが出てきているのではないかと思います。

市民協働（自治会）

地域の活力を育てる、地域を振興していくためには町内会や連合町内会の役員や民生児童委員の活躍が大きく社会を支える力になります。今一度、町内会や連合町内会のなかで、みなさんとともにこの町内をどのように振興発展させていけるのかというところから、この会館の利用のあり方の話し合いをしていただきたいと思います。

【参加者アンケートの主なご意見】

年齢区分	性別	ご意見
50-59 歳	男性	人口減少は日本全体の問題ですが、高校生が卒業後の都市移住をなんとかする必要はある。富良野高校では、約7割～8割が進学などで転出する。その後、富良野に戻ってくるような仕掛けをお願いしたい。